

材料工学委員会・総合工学委員会合同将来展開分科会（第26期・第5回）  
議事要旨

1. 日 時：令和7年4月24日（木）13:30-15:00
2. 会 場：Zoomを用いてのオンライン開催
3. 出席者（敬称略）尾崎由紀子、岸村顕広、岸本康夫、中野貴由、森田一樹、梅津理恵、大矢根綾子、小山敏幸、筑本知子 10名  
欠席者（敬称略）杉本諭

4. 議 題

（1）アンケート回答概要共有（資料1）

- 冒頭、委員長より、研究インテグリティ実施に関する手順書策定（今年度策定）のため、内閣府科学技術イノベーション推進室有識者会議が発足した旨を報告。本分科会からの意思の表出では、研究現場での状況も踏まえ、策定される手順書についてさらに考慮すべき点を明確に示す必要を説明。
- アンケート回答について以下の概要を共有。  
回答数 206（4/28現在）  
回答者 学生から所属長に至る幅広い年代、かつ国研、大学、企業と所属機関も偏りなく分布

（2）意思の表出（報告）申出書の承認

- 意思の表出（報告）申出書案（資料2、3）の内容を確認し、意見交換を実施のち承認された。
- 報告骨子、執筆分担（案）（資料4）に関する意見交換を実施。材料工学分野に落とし込んだメッセージとなるよう論旨の展開に留意すること、賛否が分かれるテーマであることを勘案し、中立性を保つこと、さらに規定枚数（20ページ）に収まるよう骨子を絞り込む必要について意見があった。規定枚数に収まる内容に骨子案を絞り込み、後日、改訂案をメールベースで審議することとした。
- 親委員会査読者について、候補者（資料5）が承認された。候補者は、意思の表出申出書の提出とともに、事務局を通して親委員会に依頼することとした。

（3）シンポジウム開催内容（資料5）

- 意思の表出後に開催予定のシンポジウムについて意見交換を行い、開催時期、講演者の選定の考え方について認識を共有。下記の点を勘案し、8月末にはシンポジウム案を分担グループにて作成することとした。

＜シンポジウム開催にあたっての留意事項＞

- ❖ 意思の表出の内容紹介
- ❖ 上記有識者会議による手順書策定の背景と内容

○3 講演者のジェンダーバランス確保

(4) その他：情報共有

- ・今後のスケジュール（資料6）を共有。次回開催は8月を予定。

配布資料

資料1：アンケート集計速報

資料2：内閣府研究セキュリティと研究インテグリティの確保に関する有識者会議\_資料

資料3：意思の表出（報告）申出書案

資料4：報告骨子（目次）および執筆分担（案）

資料5：将来展開分科会幹事会（第26期・第3回）議事要旨

資料6：将来展開分科会活動スケジュール